**著者の名前. (20XX). ←基本はそのまま論文にコピペできるように書く**

**論文表題.**

***掲載雑誌名*, Number, Volume, page-page.**

**背景**：なぜ著者がこの研究をしたのか背景を簡潔に書く。どのような研究が先にあって、これまで何がわかっていて、いまでもまだ何がわかっていないのか、先行研究の流れがわかるように書く。

**目的**・**参加者**：何を明らかにするためにどんな属性の人を何人調査対象にしたのかを書く。ここが少ないと研究結果の信頼性が下がる。調査参加者をどのようにサンプリングしたのかも可能であれば書く。

**方法・計画**：どのような手法で、どういう手順で、どういう条件を操作して、何を検討したのかを書く。詳細は書かなくて良い。本文を読めばわかることをここに書かなくて良い。

**主な結果**：結果が複数ある場合は優先順位の高い結果のみ掲載する。メインのグラフや表はコピー&ペーストしておく。どのような結果だったかということだけでなく、結果が意味するところは何かを中心にまとめる。なお、論文内に複数の研究がある場合は、方法・計画と主な結果を研究ごとにまとめる方が読みやすい。

**研究の問題点**：非常に難しいが自分で読み取って書く。問題点は本来考察部分に書かれてしかるべきだが、必ずしも書かれているわけではない。この問題を解決するために次の研究が生まれる。

**備考**：本研究の位置づけを書く。この研究はこれまでの○○研究の続きである、など。自分が論文を書く際の重要度（引用可能性）の評価もメモしておく。図が使えるかどうかなども。本論文を読んで感じたこと疑問に思ったことその他のコメントもここへ。

※ともかく“1枚に”まとめることが重要。

なぜまとめるのか？ それは同じ論文を読み返さずに済むようにするため。そのため、この1枚を読めば「あーそうそう、こういう論文だった」という必要十分な情報が整理されているのが望ましい。それ以上詳しい情報が欲しいときは原本を読み直せば良い。